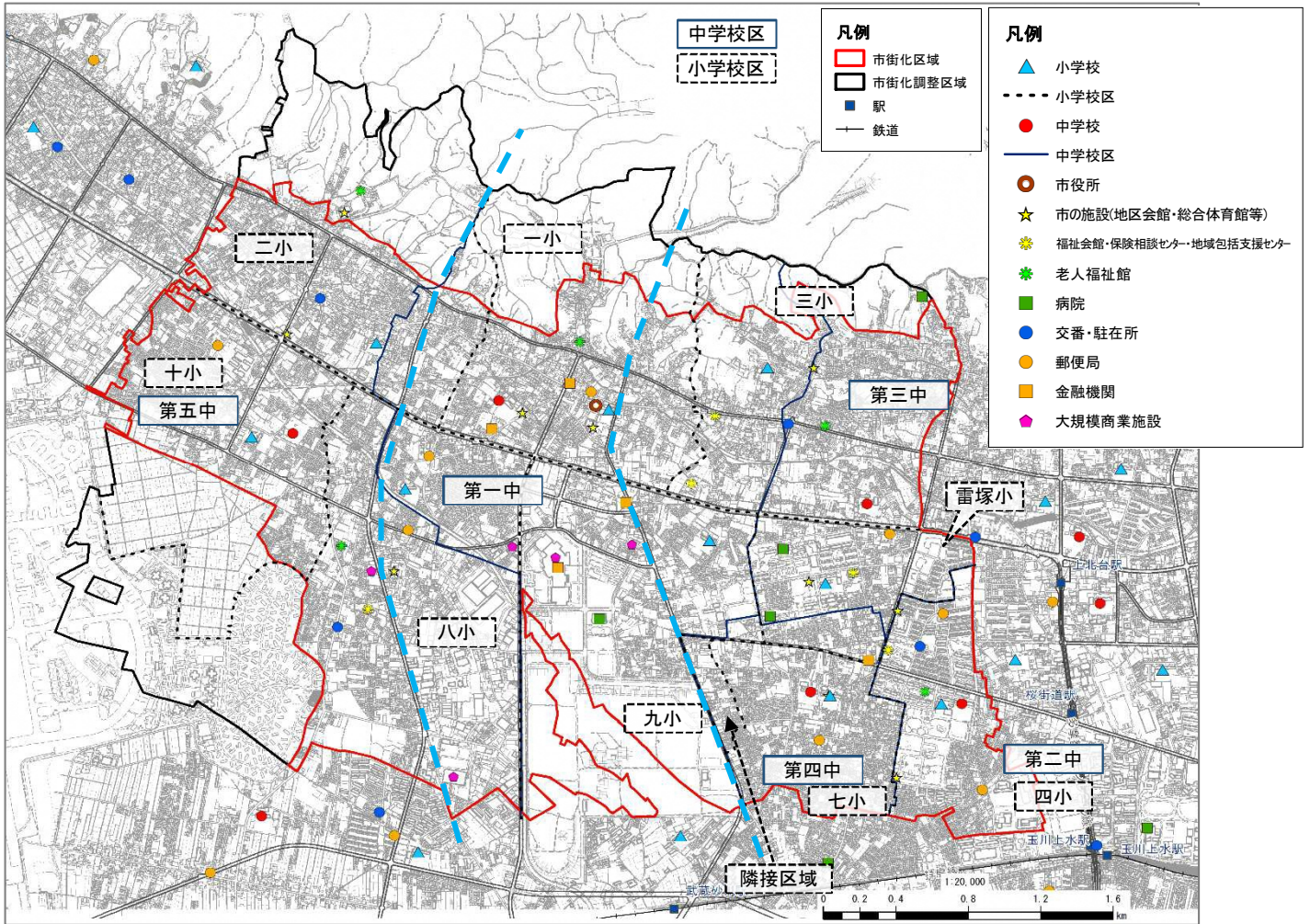
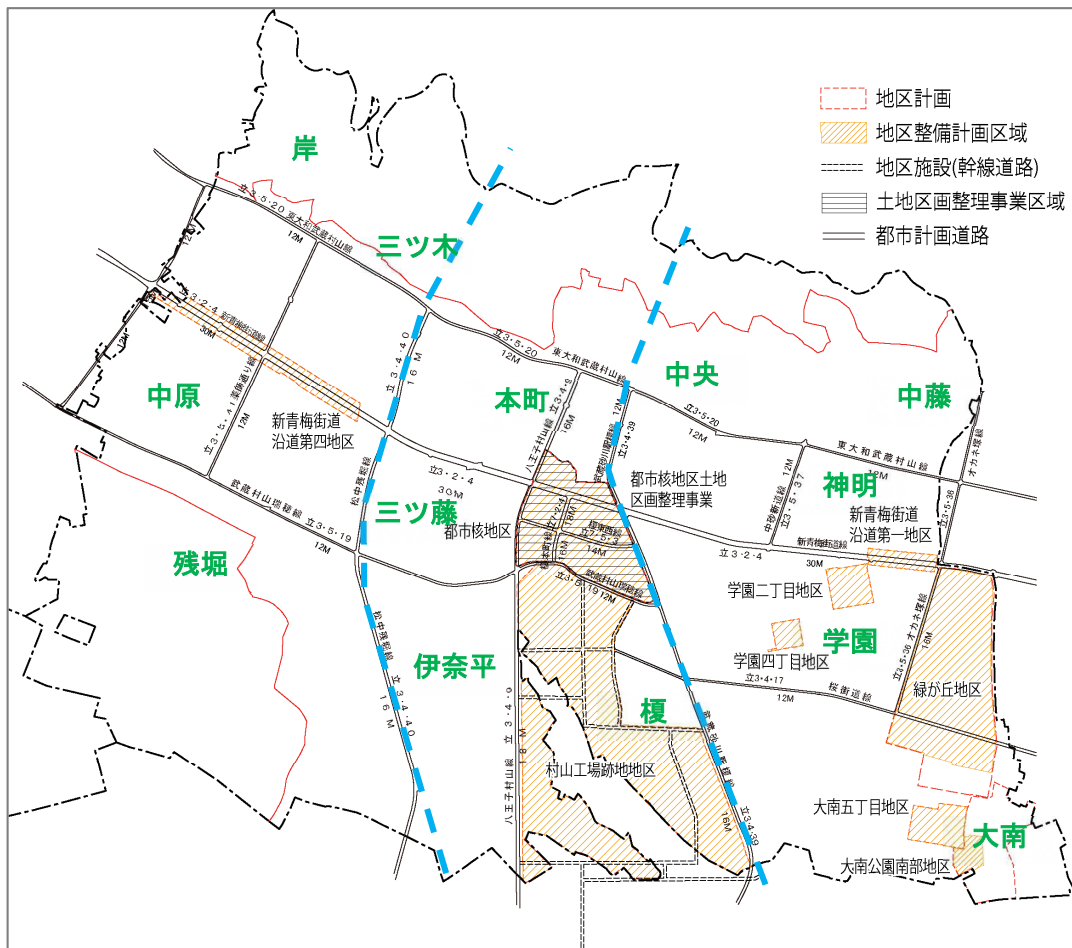


■ 公共公益施設分布図



■ 基盤整備・都市計画道路位置図

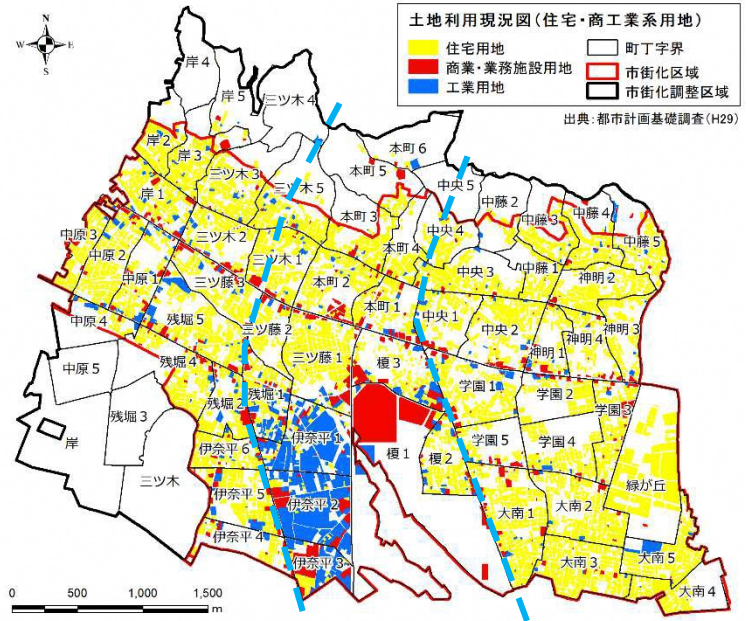


■土地利用現況図（住宅・商工業系用地）

※住宅・商工業系用地：

独立住宅、集合住宅、住商併用建物、  
住居併用工場事務所建築物、  
専用商業施設宿泊・遊興施設、  
専用工場、倉庫運輸関係施設

- ・商業業務施設は榎、伊奈平に分布するほか、新青梅街道沿道、江戸街道、青梅街道、その他の都道の沿道に分布している
- ・工業地は、伊奈平に集積している。

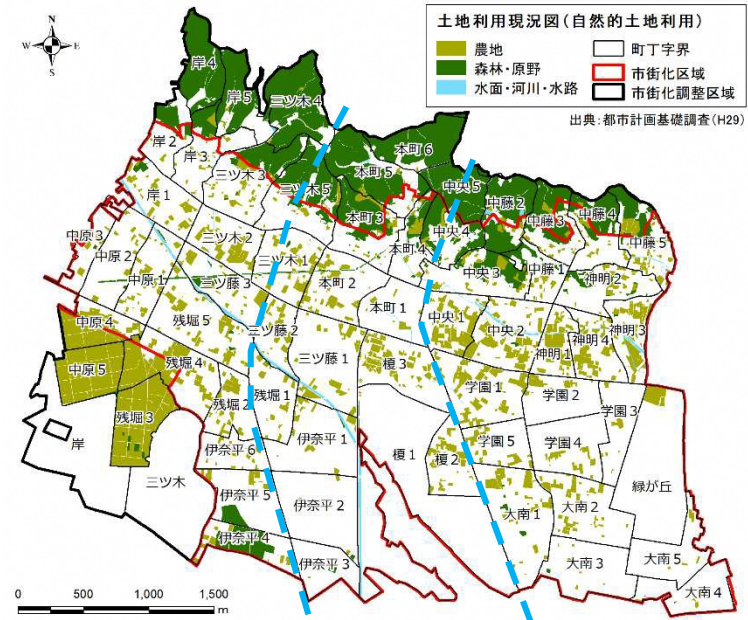


■土地利用現況図（自然的土地利用）

※自然的土地利用：

田、畑、樹園地、採草放牧地  
農林漁業施設、山林、原野、  
水面、河川、水路

- ・山林原野は、狭山丘陵の調整区域を中心に分布し、このほか伊奈平4及び三ツ藤3に分布が見られる。
  - ・農地は、新青梅街道の北側に分布が多く、特に神明、中央に多い。
- なお、多摩開墾に連続して中原、残堀にまとまったの相知が分布している。

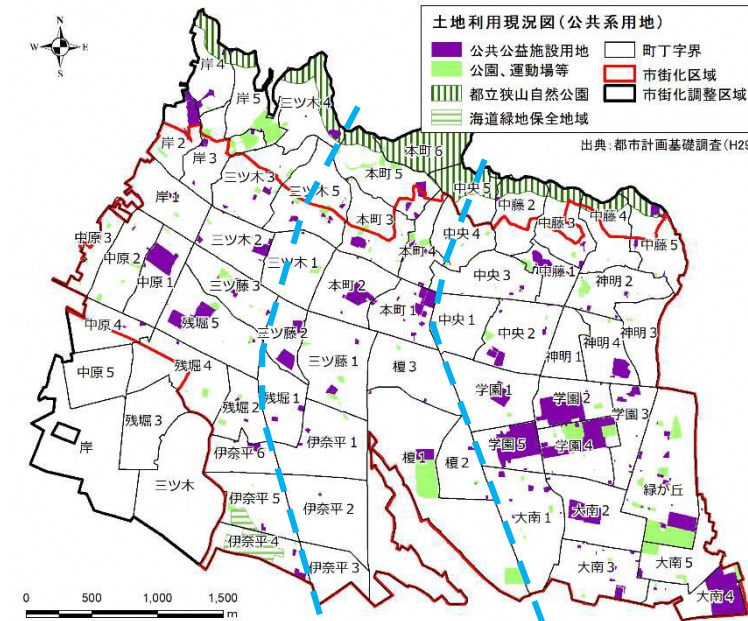


■土地利用現況図（公共系用地）

※公共系用地

：官公庁施設＋供給処理施設  
＋教育文化施設  
公園、運動場等＋スポーツ  
・興行施設

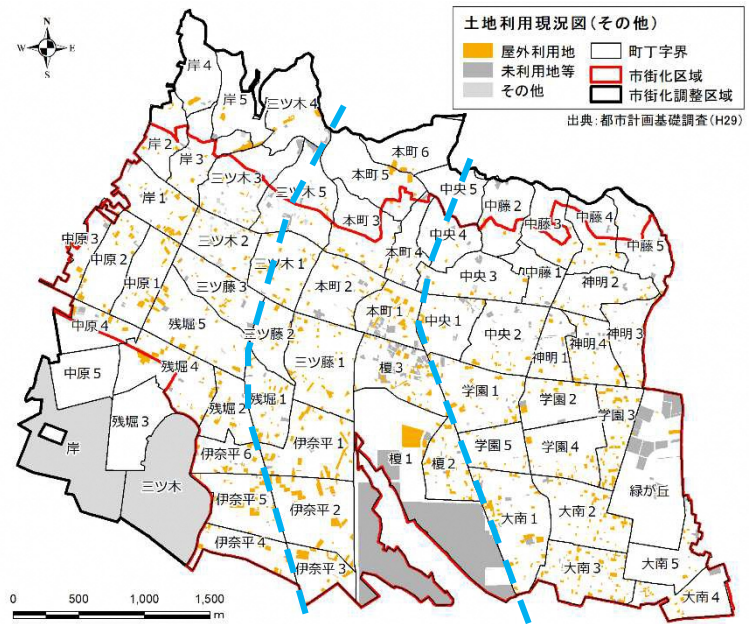
- ・教育施設や地域施設がほぼ均等に全市に渡って分布しているほか大学や高等学校が立地する学園、大南でまとまった規模の分布が見られる。
- ・公園緑地はほぼ全市に分布するが、伊奈平、園がない町丁がある。



■土地利用現況図（その他）

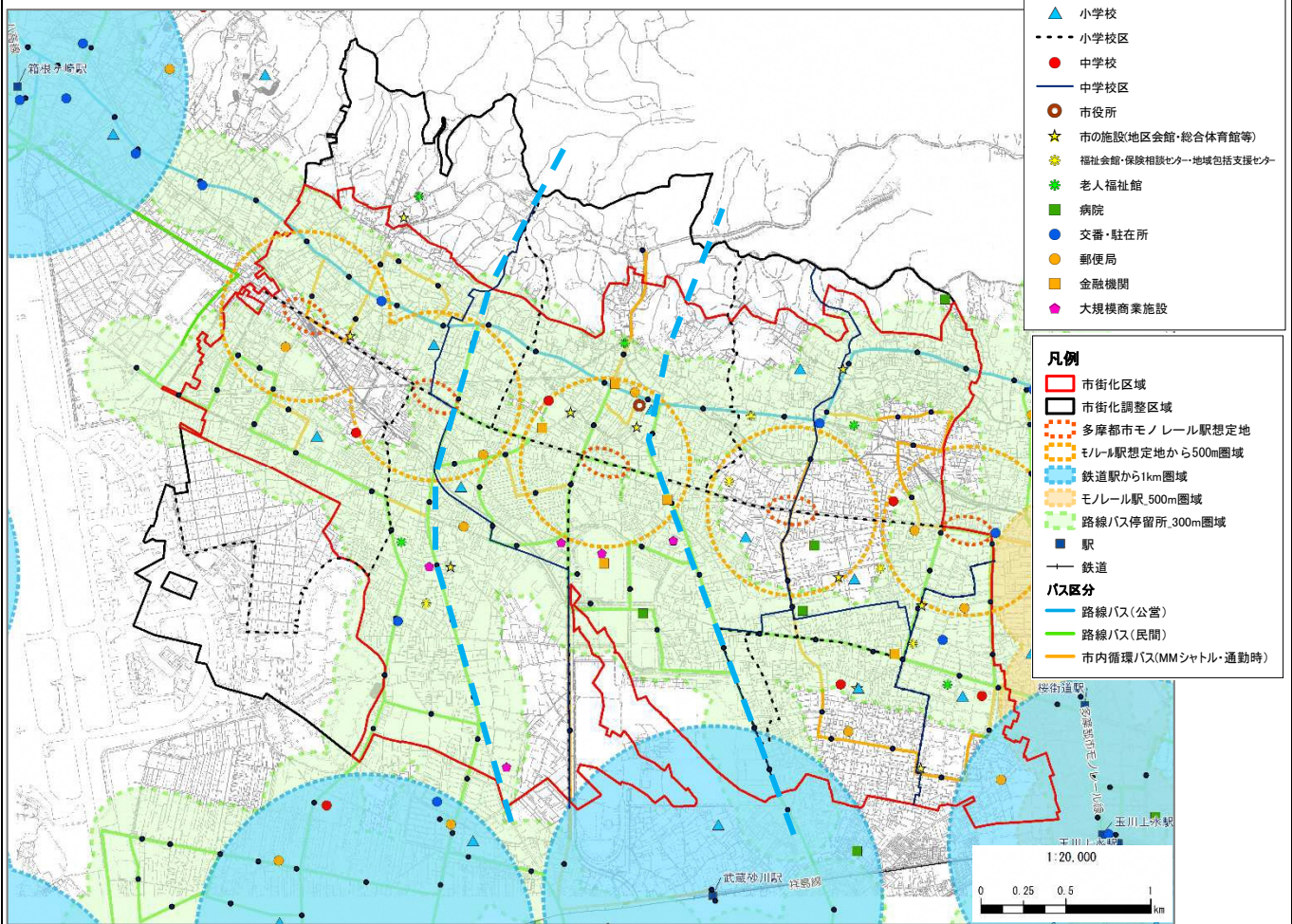
※屋外利用地、未利用地等、その他

- ・横田基地以外でまとまった未利用地は、村山工場跡地と緑が丘地区及び都市核地区土地区画整理事業地区に分布している。
- ・小規模な未利用地や屋外利用地は全市に点在が見られる。



■公共交通網＋徒歩圏＋公共施設

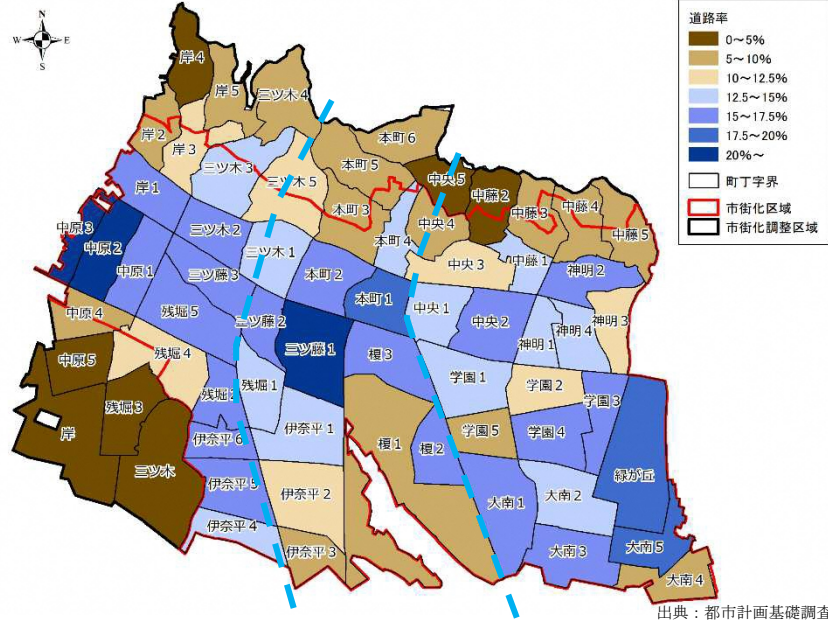
- ・公共交通の徒歩圏を確認すると、主に新青梅街道沿線、大南地区、青梅街道以北の地域がカバーされていない。
- ・モノレールの新駅ができることで、新青梅街道周辺の地区では公共交通徒歩圏のカバーが期待できる。
- ・公共施設は市の東側に集中して分布している。
- ・公共交通の徒歩圏から外れる施設も多くある。



■道路率（町丁別集計）

○道路面積÷町丁別総面積

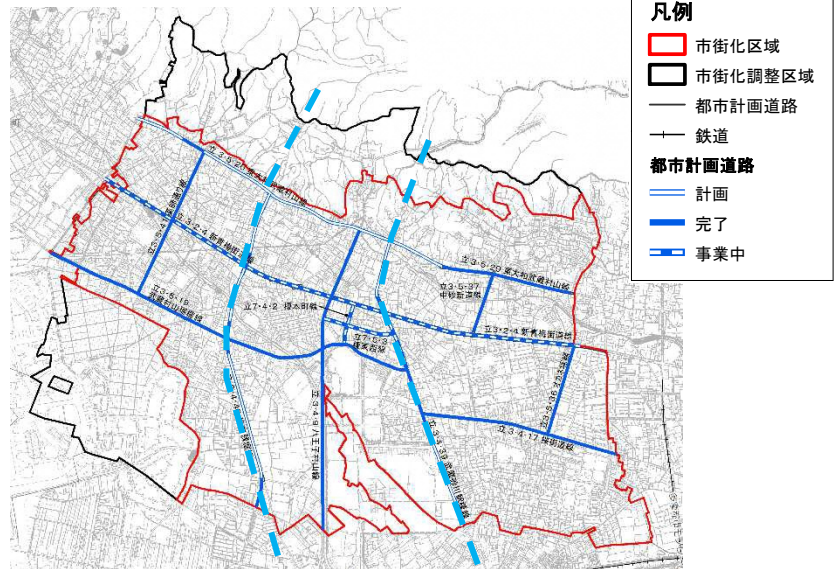
- ・三ツ藤 1、中原 2、3 は、まとまった規模の住宅地開発によるもので 20%を越えている。
- ・新青梅街道に面した地区及び学園、大南、伊奈平の地区で 15%以上を示す地区が多い。



出典：都市計画基礎調査（H29）

■都市計画道路網図

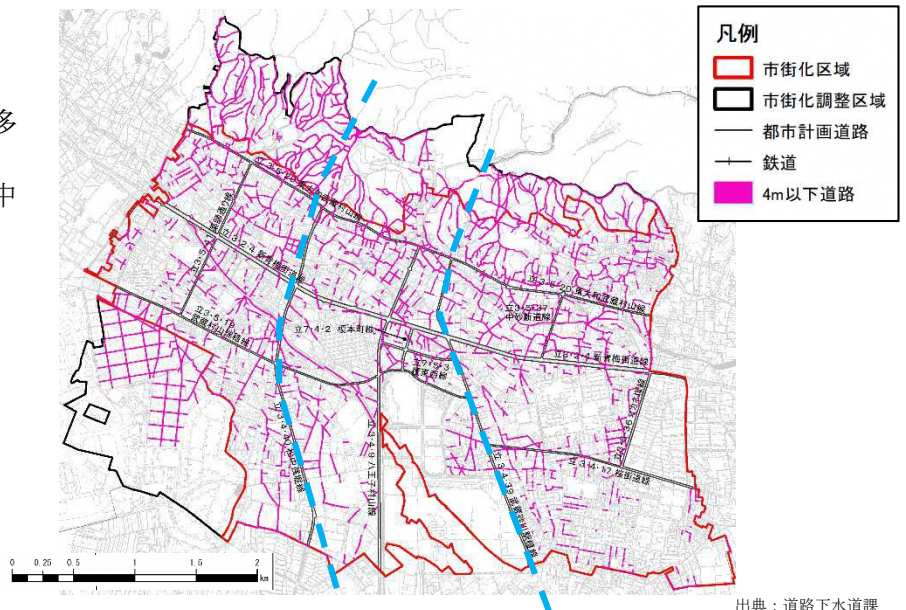
- ・都市計画道路は昭和 36 年に 10 路線、以後 2 路線を加えて、延長 25,808m が都市計画決定されている。
- ・平成 31 年 4 月 1 日現在で全体の 51.1%が供用されている。



出典：都市計画課

■狭あい道路現況図

- ・新青梅街道以北で狭あい道路が多く分布している。
- ・学園、緑ヶ丘、大南、三ツ木、中原は狭あい道路の分布が少ない。



出典：道路下水道課

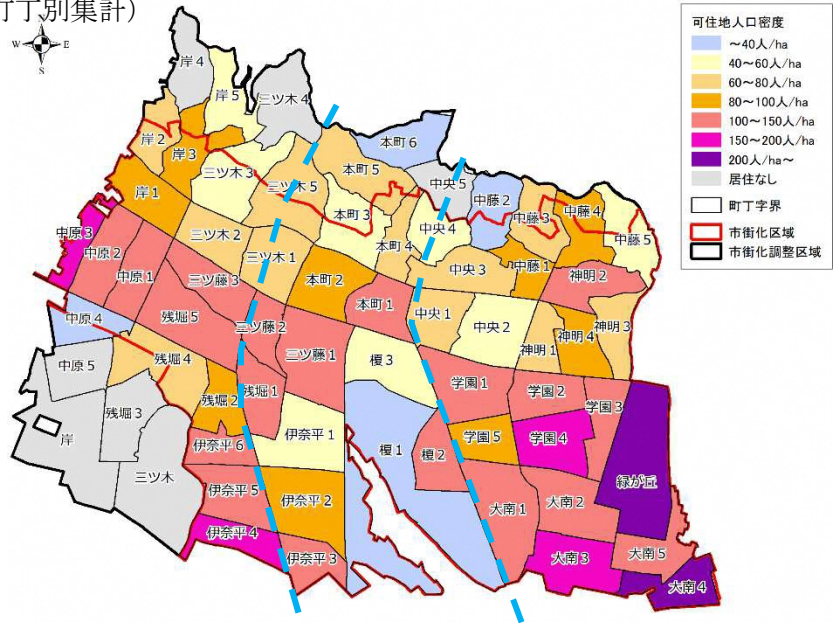
■可住地人口密度 (平成 27 国勢調査 町丁別集計)

○総人口÷町丁別可住地面積

※総人口：H27 国勢調査

※可住地：農地+山林+住宅地  
+未利用地

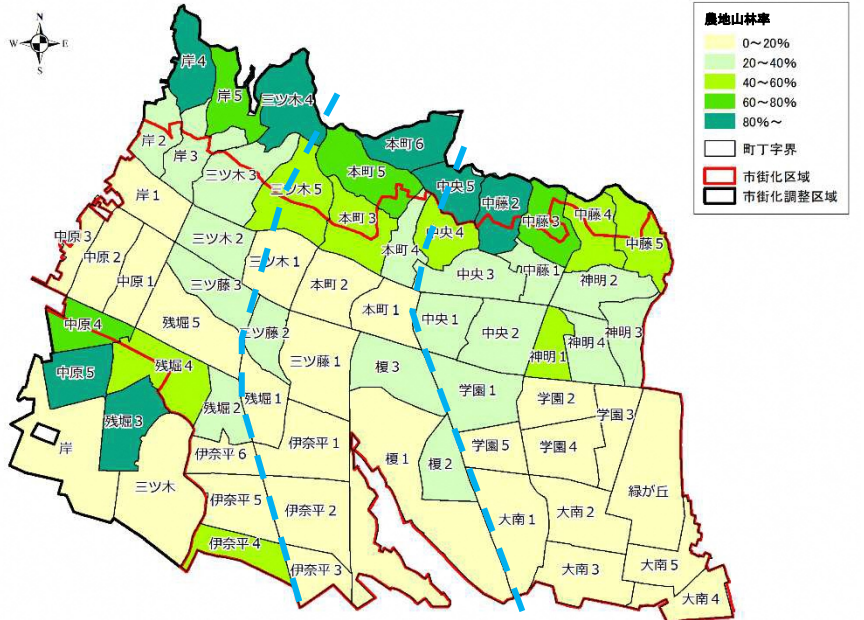
- ・人口密度は、大規模団地がある緑が丘及び地区計画による集合住宅が立地する大南 4 が 200 人/ha を越える。
- ・学園、大南、伊奈平、中原に 150 人/ha を越える町丁があるほか、全体に新青梅街道以南の地区で 100 人/ha を越える地区が分布している。



■農地山林率 (町丁別集計)

○(農地+山林原野)÷町丁別総面積

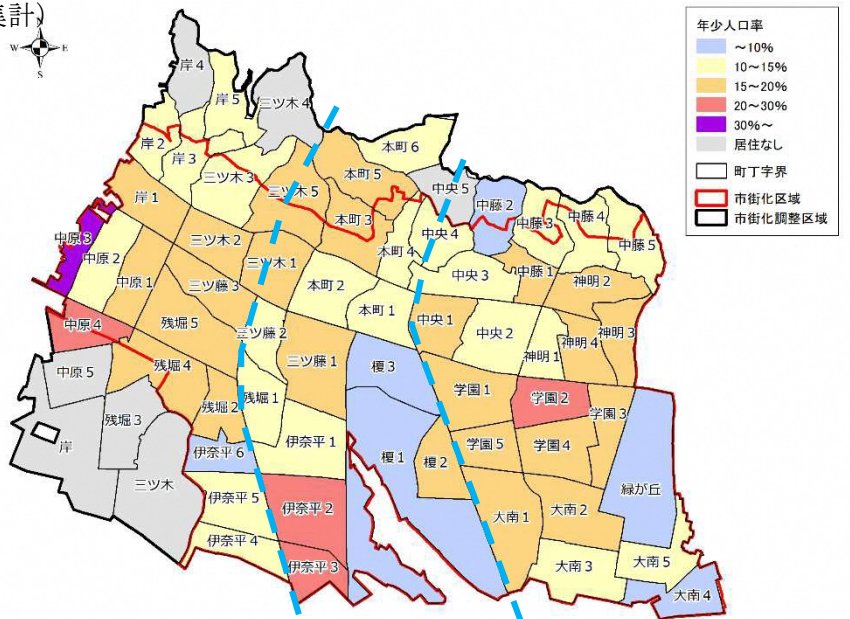
- ・農地山林率は、市街化調整区域とこれに接する地区で 60%以上となっているほか、神明、中央、三ツ藤、三ツ木で 20%を超える割合を示す地区が分布している。



■年少人口率 (H27 国勢調査 町丁別集計)

○町丁別 0~14 歳人口の  
総人口に占める割合

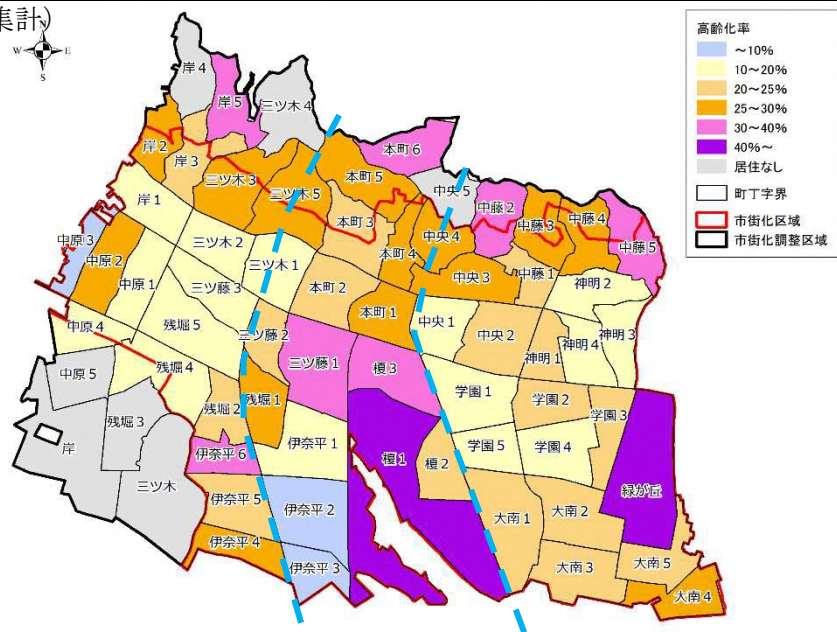
- ・年少人口 (0~14 歳) の占める割合が最も高い地区は中原 3 で 30%をこえる。
- ・20%を越える地区は中原 4、学園 2、伊奈平 2、3 である。



■高齢化率 (H27 国勢調査 小地域集計)

○町丁別 65 歳以上人口の  
総人口に占める割合

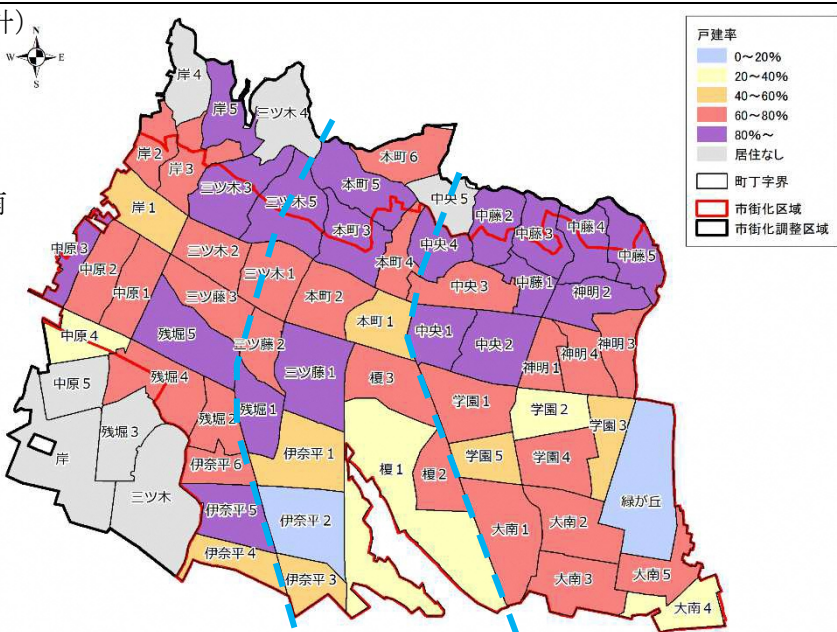
- ・ 高齢化率が高いのは、村山団地の  
緑が丘と医療施設が立地する榎 1  
で 40%を越える。
- ・ 30%を越える地区は、狭山丘陵内  
の地区及び榎 3、三ツ藤 1、伊奈  
平 6 となっている。
- ・ 高齢化率が 20%未満は、新青梅街  
道沿いの地区が多い。



■戸建率 (H27 国勢調査 小地域集計)

○町丁別戸建て住宅居住世帯の  
主世帯数に占める割合

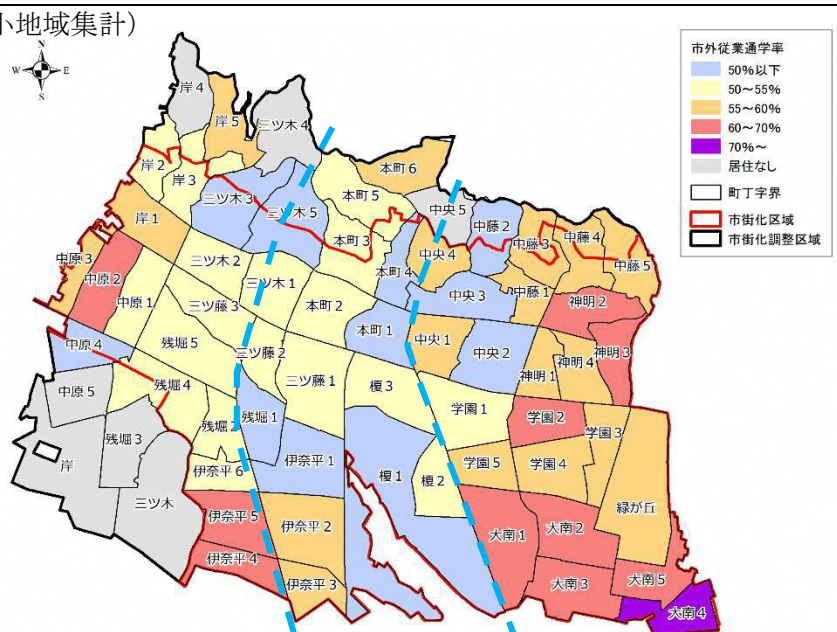
- ・ 戸建て居住世帯が 40%未満の地区  
は緑が丘、伊奈平 2、学園 2、大南  
4、榎 1、中原 4 の各地区で、中高  
層住宅団地や中高層のマンショ  
ン、アパートが多い地区である。
- ・ 戸建てが 80%を越える地区は、北  
部の市街化調整区域にまたがる地  
区や中央、三ツ藤、残堀、伊奈  
平、中原に分布している。



■市外従業通学率 (H27 国勢調査 小地域集計)

○町丁別 15 歳以上通勤通学者の  
うち市外へ通勤通学するもの  
割合

- ・ 市外へ通勤通学する割合が 60%を  
越える地区は、大南、学園、神  
明、伊奈平、中原に分布してお  
り、主に市の東部、南部に多い傾  
向がある。



■アンケート調査結果の14地区別特性の整理

※問7の14地区別集計結果について、全市の平均からの開きが大きい地区(5ポイント、10ポイント)を表示した。項目(①~⑳)について開きが10ポイント以上となった項目について図を作成。

問7 本市のまちづくりにおいてどのような取組みが重要だと思いますか。3つまで選んで記入してください。

■道路や公共交通について

- ①幹線道路の整備
- ②自転車や徒歩で快適に移動できる道路環境の整備
- ③市内の公共交通機関の充実

■自然環境や公園・緑地について

- ④身近な自然環境の保全と活用
- ⑤水とみどりを活かしたネットワークづくり
- ⑥まちにうるおいを与える農地の保全と活用
- ⑦地域の核や憩いの場となる公園の整備
- ⑧環境と共生した河川の整備と維持・管理

■防災・防犯について

- ⑨地震や火災に強い建物の耐震化や不燃化
- ⑩災害時に安全に避難できる道路・公園等の整備
- ⑪防犯に配慮した安全な公共空間の形成

■生活環境・居住環境について

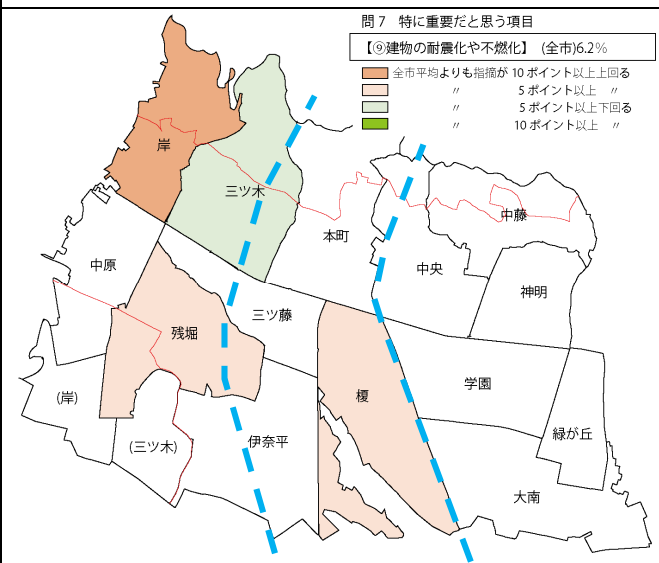
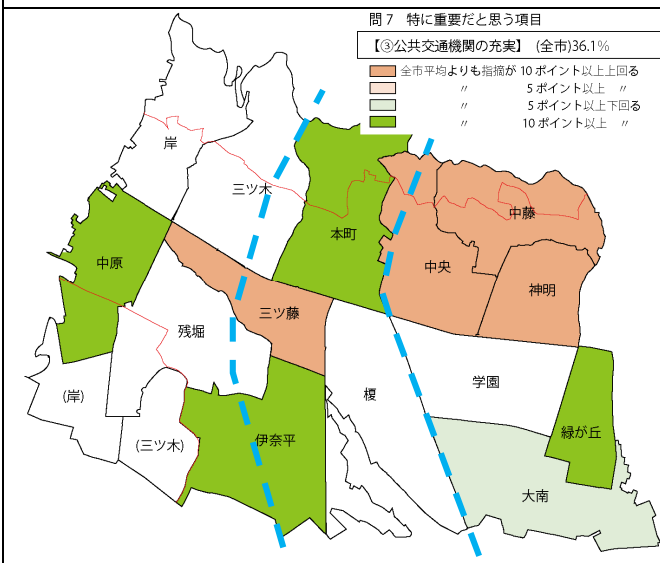
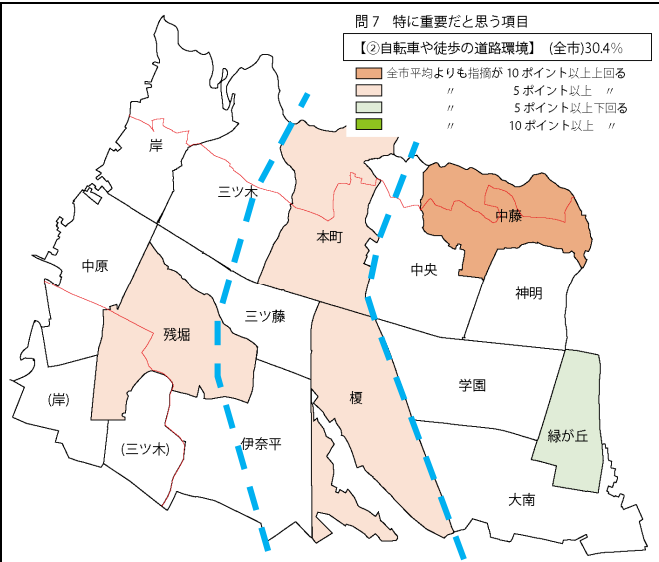
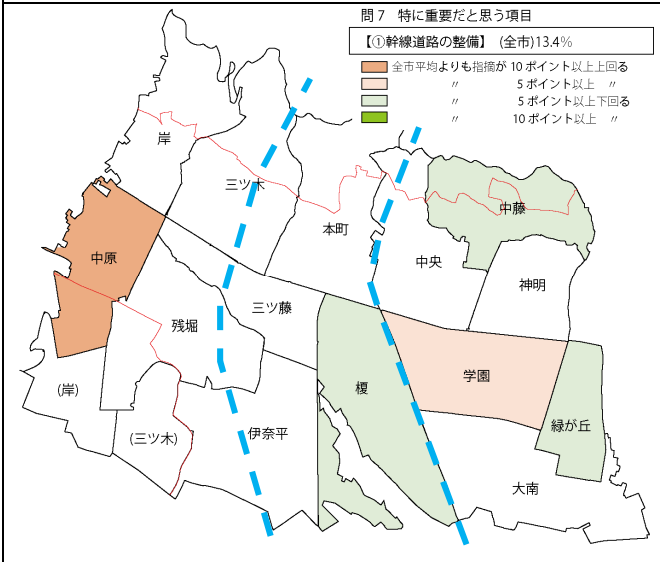
- ⑫地域の特性に合った良好な住環境の形成
- ⑬自然環境や地球温暖化に配慮したまちづくり
- ⑭生涯学習環境の充実

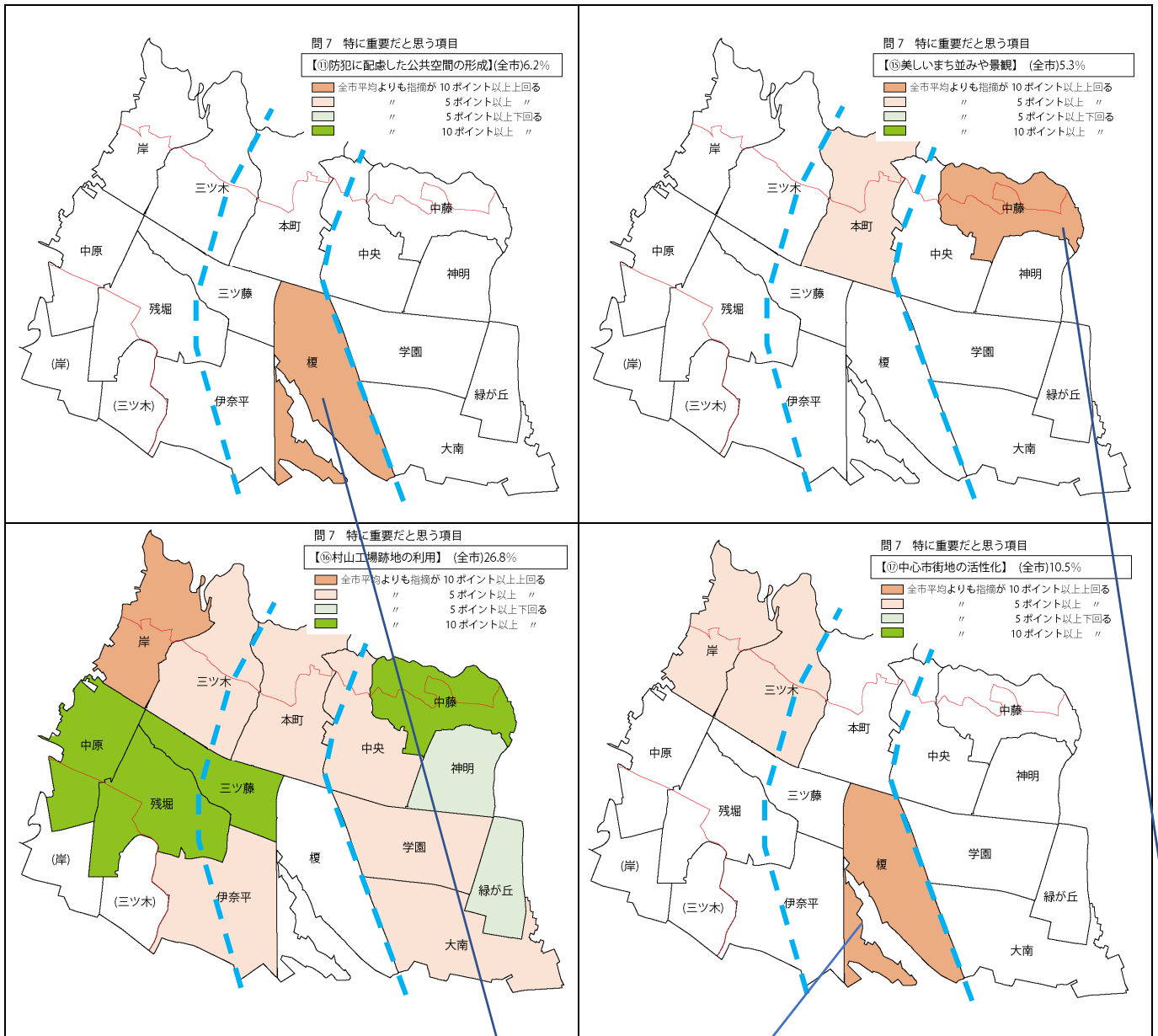
■にぎわい・活力について

- ⑮美しいまちなみや景観の形成
- ⑯日産自動車村山工場跡地の利用
- ⑰中心市街地の活性化
- ⑱観光の振興とレクリエーションの場の充実

■やさしさ・ふれあいのまちづくりについて

- ⑲道路や公園のバリアフリー化
- ⑳誰もが安全で快適に利用できる憩いの場の充実





**■西地域の特徴的な項目**  
 <全市>  
 ①幹線道路の整備 (中原)  
 ⑨地震や火災に強い建物の耐震化や不燃化 (岸)

<居住地区>  
 ⑥車道における自転車走行時の安全性 (三ツ木)  
 ⑭身近な生活道路の整備状況 (三ツ木)

**■中央地域の特徴的な項目**  
 <全市>  
 ⑪防犯に配慮した公共空間形成 (榎)  
 ⑰中心市街地の活性化 (榎)

<居住地区>  
 ⑥車道における自転車走行時の安全性 (本町)  
 ⑧公共交通の利便性 (本町)  
 ⑳周辺の河川等の水辺空間の整備 (榎)

**■東地域の特徴的な項目**  
 <全市>  
 ①幹線道路の整備 (学園)  
 ②自転車や徒歩の道路環境 (中藤)  
 ③市内の公共交通機関の充実 (中藤、中央、神明)  
 ⑮美しいまち並みや景観 (中藤)

<居住地区>  
 ①火災・震災時の避難場所や避難経路の安全性 (中藤)  
 ②台風・豪雨時の避難場所や避難経路の安全性 (中藤)  
 ⑧公共交通の利便性 (中藤)  
 ⑨日常の買物の利便性 (中藤)  
 ⑫スポーツ・レクリエーション施設等への距離 (中藤)



※問9の14地区別集計結果について、全市の平均からの開きが大きい町(5ポイント、10ポイント)を表示した。項目(①~⑤)について開きが10ポイント以上となった項目について図を作成。

問9 あなたがお住まいの地域について特に重要だと思う項目を、ア~ノから3つまで選び回答欄に記入してください。3つまで選んで記入してください。

■地域の安全性

- ①火災・震災時の避難場所や避難経路の安全性
- ②台風・豪雨時の避難場所や避難経路の安全性
- ③災害時の避難体制づくり
- ④防犯灯や街路灯の充実度
- ⑤歩道の安全性
- ⑥車道における自転車走行時の安全性
- ⑦道路標識や速度規制などのルール

■生活の利便性

- ⑧公共交通の利便性
- ⑨日常の買物の利便性
- ⑩医療・福祉施設等への距離
- ⑪図書館・地区会館等への距離
- ⑫スポーツ・レクリエーション施設等への距離
- ⑬主要な幹線道路の整備状況

⑭身近な生活道路の整備状況

- ⑮誰もが安心して快適に利用できる施設環境の整備状況

■生活の快適性

- ⑯住宅周辺の静けさ
- ⑰住宅周辺のみどりなど自然の豊かさ
- ⑱周辺の公園・広場・遊び場の整備
- ⑲周辺のまちなみや景観
- ⑳周辺の河川等の水辺空間の整備
- ㉑歴史・文化財などの地域資源の活用

■地域の環境

- ㉒自動車の騒音・振動
- ㉓日照や風通し
- ㉔周辺の空気や水質
- ㉕環境への配慮

